



2026年4月9日

各 位

会 社 名 株式会社トレジャー・ファクトリー
代 表 者 名 代表取締役社長 野坂 英吾
(コード番号 3093 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 金坂 剛嗣
(TEL. 03-3880-8822)

中期経営計画修正に関するお知らせ

当社は、2025年4月9日に、2028年2月期までを対象期間とする中期経営計画を発表しておりますが、本日取締役会にて当該計画を更新し、2029年2月期までを対象とする中期経営計画として改めて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の内容

修正後の中期経営計画の内容は、添付の「中期経営計画（2027年2月期～2029年2月期）」に記載のとおりです。

以 上



TREASURE FACTORY

株式会社トレジャー・ファクトリー

中期経営計画

2027年2月期 ~ 2029年2月期

2026年4月9日

中期経営計画達成に向けた経営方針

1

リユース事業の成長

リアルの買取・販売拠点かつEC販売の拠点ともなる店舗を、連結で年間30～40店のペースで出店し、当社グループのリユースのネットワークを拡大する。

2

新規事業への投資

コアとなるリユース事業に加えて、リユース事業と相乗効果や補完関係のあるリユース周辺事業や、経営理念に沿ったその他の事業に継続的に投資を行い、成長基盤の拡大を図る。

3

海外市場での成長

各地域の状況に応じ、体制の整備と収益改善を進め、新規出店を進める。
タイ、台湾、アメリカに続く新規地域への進出を行う。

4

M&Aによる成長

当社と補完関係があるリユース企業やグループ内でシナジーが発揮できる企業のM&Aを積極的に実行し、成長を加速する。

5

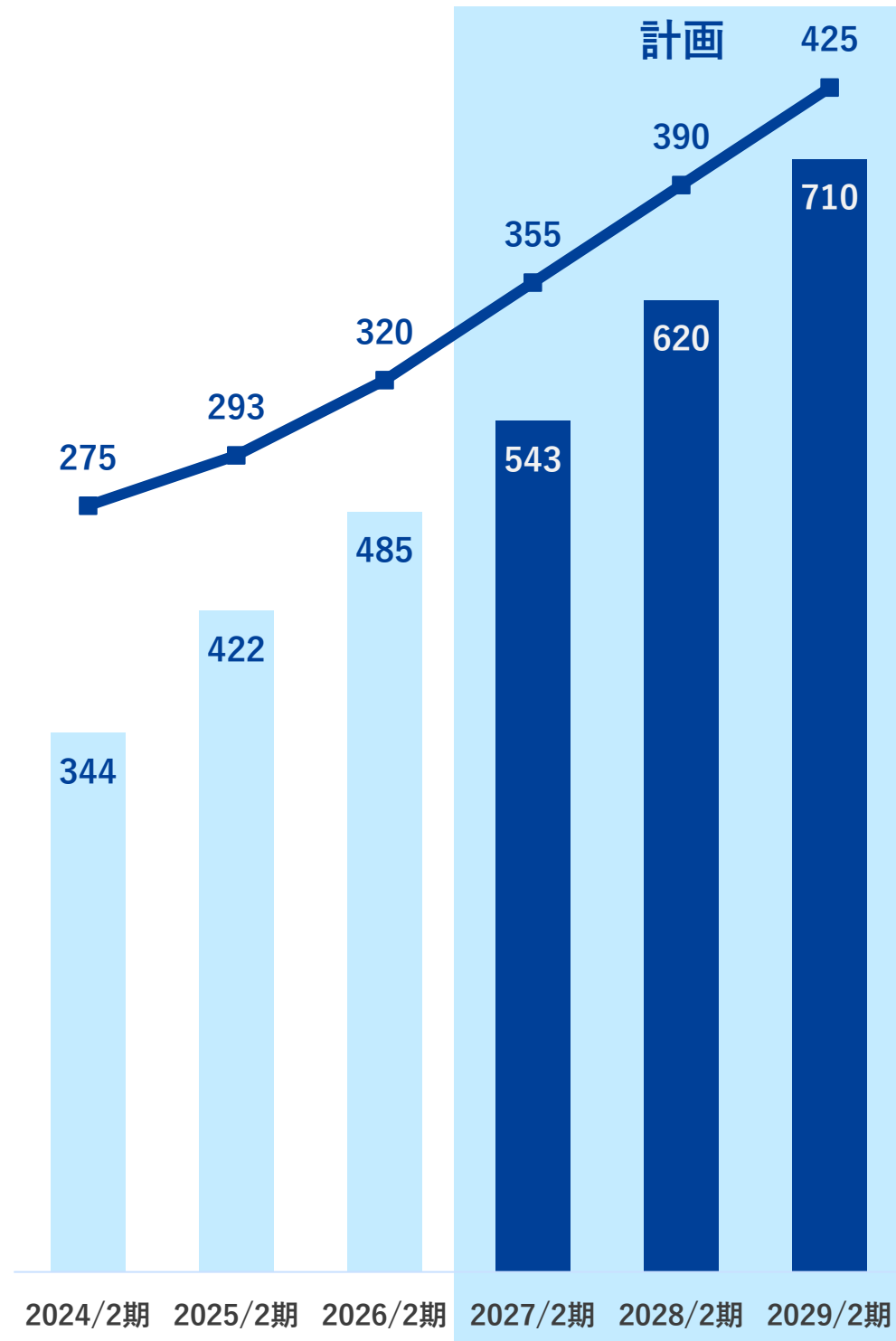
DX投資による成長

自社システム部門及びシステムグループ会社の開発力を活用し、ITやAIを使った業務効率化とイノベーションを起こし、新たなビジネス機会の創出等によりグループ収益を伸ばす。

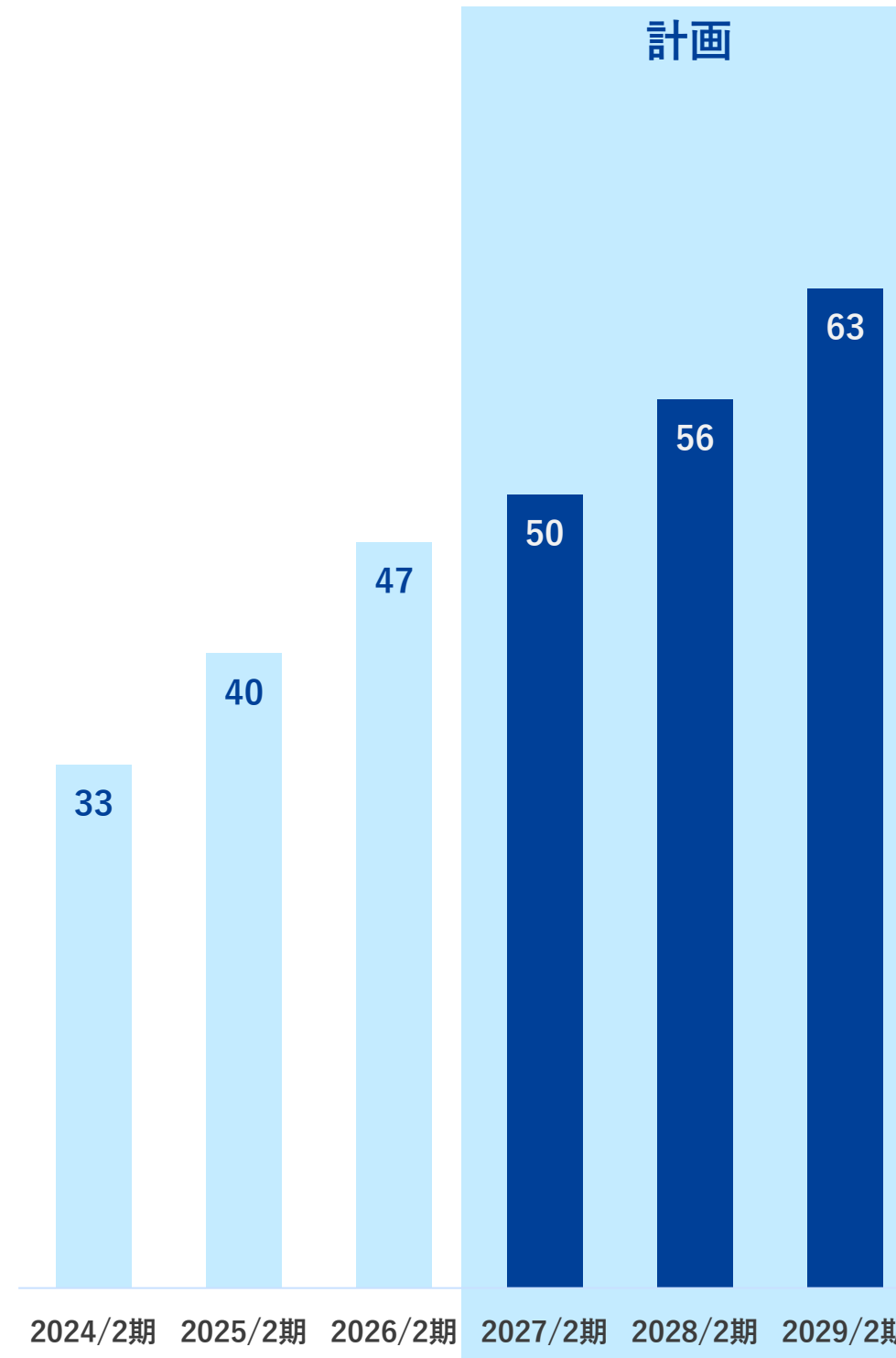
中期経営計画サマリー

売上高・店舗数

■売上高(億円)
■店舗数(店)



営業利益



中期経営計画を刷新

- ・ ローリング方式により毎年4月に更新
- ・ 今後も業績に応じて適宜見直しを検討

持続的な利益成長と高い効率性を維持

- ・ 持続的な利益成長と投資を継続
- ・ 成長投資と株主還元のバランスを取りながら、高水準のROEを維持していく

計画最終年度（2029年2月期）

- ・ 売上高：**710**億円、営業利益：**63**億円を見込む

中期経営計画・配当の見通し（2027年2月期～2029年2月期）

	2026年 2月期	2027年 2月期	2028年 2月期	2029年 2月期	CAGR (年平均成長率)
年間出店数	32店	30～35店	35～40店	35～40店	—
売上高	485億円	543億円	620億円	710億円	13.55%
営業利益	47.7億円	50.6億円	56.8億円	63.8億円	10.18%
営業利益率	9.8%	9.3%	9.2%	9.0%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	31.7億円	33.9億円	38.3億円	42.9億円	10.61%
1株当たり 当期純利益	135.2円	144.8円	163.4円	183.2円	10.66%
1株当たり 配当金	40.0円	44.0円	49.0円	55.0円	—
配当性向	29.6%	30.4%	30.0%	30.0%	—

計画最終年度（2029年2月期）

- 売上高：**710**億円、営業利益：**63**億円を見込む

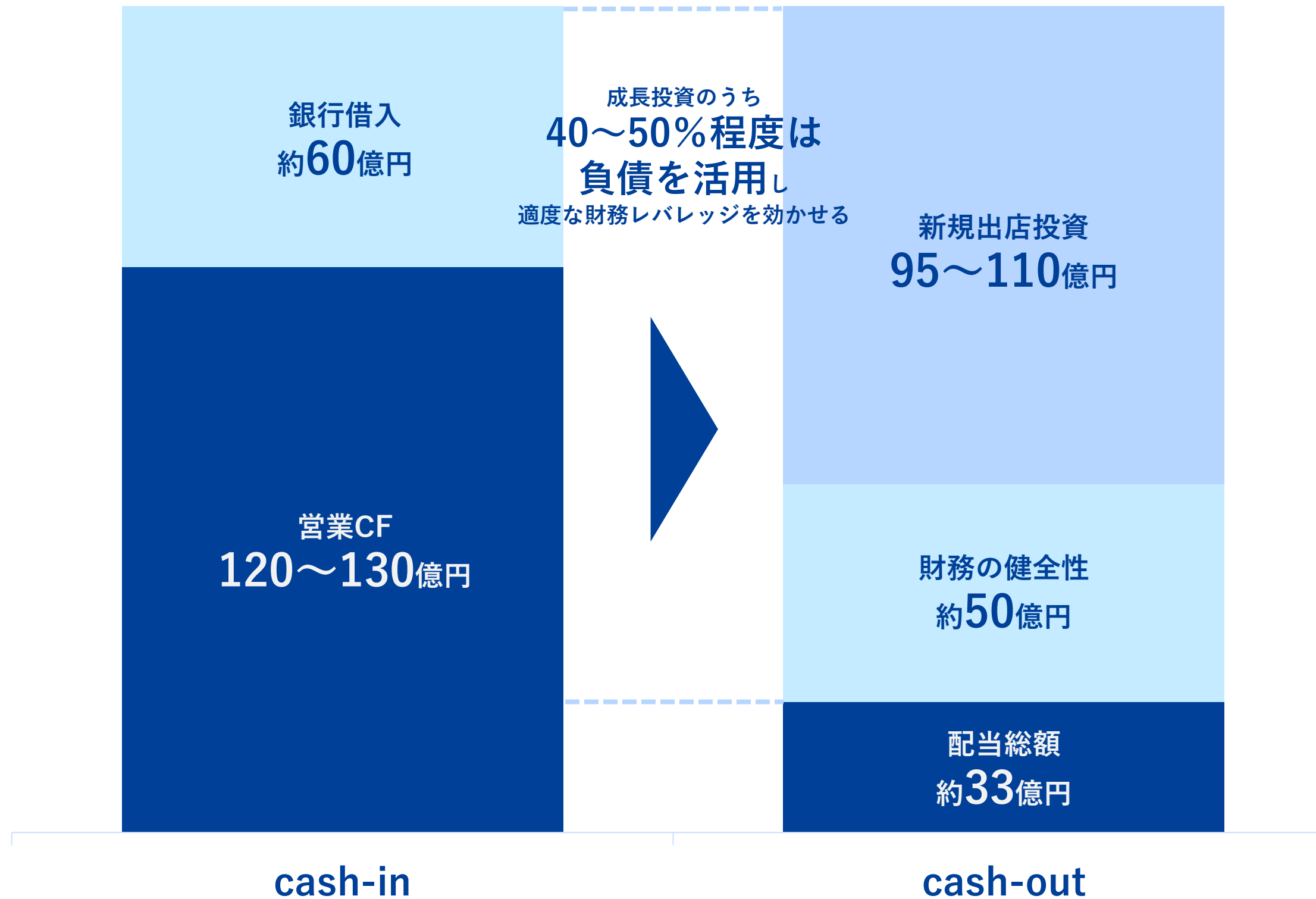
配当性向

- 目標：**30%**以上

留意事項

- 不確定要素が高いため、M&Aによる収益拡大やM&Aの仲介手数料等の費用は見込んでおりません。
- 新規出店の物件が想定どおり確保できない場合は、計画に影響が出る可能性があります。
- 新型コロナウイルス感染症拡大のような不測の事態により計画に大きな影響が出る可能性があります。
- 中期経営計画は適宜見直しを行う可能性があります。
- 1株当たり当期純利益は、今後の新株予約権の行使状況や自己株取得の実施動向によっても変動を受けます。
- 配当見通しは、業績の状況等により変更となる可能性があります。

資金・投資配分計画 2027年2月期～2029年2月期 | 3年累計



資金計画 (cash-in)

- ①営業CF予測 : 約34～52億円/年
: 約**120～130**億円/3年累計
- ②銀行借入 : 約**60**億円
- ① + ② : 約**180～190**億円

投資配分計画 (cash-out)

- ③新規出店投資 : 約35～40億円/年
: 約**95～110**億円/3年累計
- 新店の店舗設備、敷金、在庫等への投資
- ④財務の健全性 : 約**50**億円/3年累計
- 有利子負債の返済や財務基盤の強化など
- ⑤配当総額 : 約**33**億円/3年累計
- 自己株式取得については株価と手元資金の動向に応じて適時実施予定
- ③ + ④ + ⑤ : 約**170～190**億円

AI活用・DX投資について

仕入から販売までの各プロセスにおいて、AI活用とDXを通じて付加価値の創出を加速させる



中期経営計画期間中の 損益インパクトイメージ

